宮内庁は9日、天皇陛下の病状について、不整脈のほか、粘膜のただれや出血を伴う胃と十二指腸の炎症が確認されたと発表した。深刻な状態ではなく、投薬治療で炎症は治まっているという。記者会見した金沢一郎・皇室医務主管らは、心身のストレスに起因しているとして、陛下の日程が立て込む年末年始の負担軽減を同庁に要請したことを明らかにした。

会見には東大の永井良三（循環器内科）、名川弘一（消化器外科）両教授も出席、診断結果を説明した。

それによると、陛下は最初に不調を訴えられた11月17日以降、「上室性期外収縮」という不整脈の回数が増加。この不整脈自体は命にかかわるものではなく、自然に治まったという。

また血圧上昇のあった今月2日に胃や胸の苦しさを訴えられ、内視鏡検査の結果、胃と十二指腸の入り口付近で粘膜のただれや出血の跡が確認された。ストレ

い。天皇誕生日や年末年始の日程を軽いものにすることが大切」と述べた。

診断を受け、宮内庁は11日に予定されていた陛下の日程のうち、会計検査院長らとの昼食会などを取りやめると発表した。羽毛田信吾長官は近く負担軽減に関する所感を公表する。

厚生労働相に対し、迅速な審査を求めて行政不服審査法に基づく不作為の異議申し立てをした。日本原水爆被害者団体協議会（被団協）によると、集団異議申し立ては初めて。厚労相は20日以内に、認定か却下の決定をするか、不作為の理由を示さなければならない。

被団協などが呼びかけ、集団訴訟弁護団によると、この日申し立てた51人には、申請から2年以上待たされている人もいる。

ノーベル賞3氏 平和への思い

【ストックホルム＝阿利明美】10日にノーベル物理学賞を受賞する益川敏英・京都産業大教授(68)が9日午前（日本時間9日夜）、記者会見し、戦争体験や平和への思いを語った。

8日の記念講演では、父の家具工房が、戦争ですべて焼かれた体験を語ったが、この日も、幼稚園のころの記憶を吐露。名古屋市中心部が米軍の空襲を受けた際、焼夷弾の一発が益川家の2階天井の瓦を突き破って、1階の畳にめりこんだという。「ものすごい音がして、たまたま不発弾で一家は助かったけれど…」と語りながら、唇をかんで目を潤ませた。「子供たちにはあんな思いをさせたくない」

授賞式前日、記者会見した（左から）下村さん、益川さん、小林さん（9日、ストックホルムで）＝松本剛撮影

益川さん 目潤ませ 戦争体験

物理学者のアインシュタインらは第2次大戦時、原爆開発を米大統領に進言。その反省から戦後は「パグウォッシュ会議」（1995年にノーベル平和賞受賞）を組織して平和運動を開始した。受賞者の湯川秀樹や朝永振一郎らも協力したが、こうした平和活動について「先頭には立てないが、自分でできる協力をしたい」と話した。

同日午後には、物理学賞を同時受賞する小林誠・日本学術振興会理事(64)、化学賞の下村脩・米ボストン大名誉教授(80)も加わって記者会見。下村さんは受賞記念講演で最初に焼け野原となった長崎の写真を示したことについて、「戦争が終わるまでの人生は、先が分からないというか、明日の命も分からない状況だった。戦争が終わって、幸い生き残り、そこから初めて人生が始まった」と振り返った。

FX投資会社突然閉鎖

大阪の「アライド」 出資者数百人14億円

外国通貨を売買する「外国為替証拠金取引」（FX取引）に投資するファンドを設立し、高配当をうたい文句に出資を募っていた投資会社「アライド」（大阪市中央区）が11月中旬、突然事務所を閉鎖し、社長と連絡が取れなくなっていることがわかった。出資者は大阪、東京、高知などの数百人で、総額は少なくとも約14億円に上るという。同社は金融商品取引法で義務付けられた金融庁への登録もしておらず、出資者から相談を受けた大阪府警は同法違反の疑いがあるとみて、情報収集を始めた。

同社は2007年6月に設立。「FX取引で運用し、毎月、出資金の2～5％を配当する」と宣伝し、ファンド「アライドLLC事業匿名組合」への出資者を集めていた。

配当は今年10月まで滞ることなく払われていたが、11月10日に予定されていた同月分は振り込まれなかった。直後から、女性社長の行方がわからなくなり、数日後に事務所が閉鎖された。

同社関係者によると、各地で説明会を開催し、投資は自称「プロトレーダー」の社長が担当していた。高知市の別会社の経営者に勧誘を依頼することもあり、高知県を中心に出資者を増やし、今年5月末の時点で主婦ら数百人から約14億円を集めた。以降も出資額は増え続けており、20億円を超える可能性もある。

FX取引は、取引業者に差し入れた証拠金の何倍もの売買が可能だが、為替動向によっては多額の損失を被るリスクもある。各地の消費者センターに「仕組みがわからずに契約させられた」などの苦情が相次いだため、05年7月施行の金融先物取引法（現・金融商品取引法）で、取引業者の規制が強化された。08年1～3月期の取引高は国内で22兆円にのぼる。

同社関係者は「無登録営業は認識しており、改善策を検討中だった。出資金は運用していた」としている。

「子供に残そうと…」 高知の80代女性

「少しでも子どもに残せればと思ったのに。これから、どうすればいいのか……」。1000万円を出資した高知県の80代の女性は「自殺も考えた」と打ち明ける。

6年前、交通事故で重傷を負い、約10年間続けた清掃の仕事を辞めざるを得なかった。一人暮らし。「絶対にもうかる」という知人の誘いに、今年2月、定期預金から550万円を振り込んだ。

今夏、高知市内で開かれた説明会。「皆さんのお金は全額、外国の銀行に預けています」。女性はそんな説明に安心し、450万円を追加した。

11月、最初に勧誘を受けた知人から「社長が逃げた」と聞いた。年金に頼るしかない生活。「社長は早く出てきて、出資者に説明するべき」。そう訴える。

元若ノ鵬地位確認 即時抗告を棄却

大麻事件で日本相撲協会から解雇された元若ノ鵬（本名＝ガグロエフ・ソスラン）(20)が、処分は重すぎるとして、同協会に力士としての地位確認を求めた仮処分申し立てについて、東京高裁（吉戒修一裁判長）は9日、元若ノ鵬側の即時抗告を棄却する決定をした。

元若ノ鵬の代理人弁護士によると、決定は、解雇処分について「（権利の）乱用とは認められない」とする一方、「本来なら力士本人に弁明の機会を与え、処分基準の明確化など適切な整備が図られることを期待したい」と付け加えたという。

少量で、反省している」などとして不起訴処分（起訴猶予）にしていたことがわかった。処分は5日付。

◆広末涼子さん勝訴

週刊誌「女性セブン」の記事で名誉を傷つけられたとして、女優の広末涼子さんが発行元の小学館などに損害賠償などを求めた訴訟の控訴審判決が9日、東京高裁であった。宗宮英俊裁判長は「記事は事実無根と評価されてもやむを得ない」と述べ、120万円の支払いを命じた1審・東京地裁判決を変更し、小学館側に230万円の賠償を命じた。

問題となったのは、2007年3月8日発売の同誌記事で、広末さんが、夫（当時）以外の男性と交際しているかのように報じた。

◆拘束死で調査申し入れ

違法な身体拘束で患者が死亡する事故のあった大阪府貝塚市の精神科「貝塚中央病院」について、NPO大阪精神医療人権センター（代表・里見和夫弁護士）は9日、徹底した調査を府健康福祉部長に申し入れた。センターに寄せられた情報から、他にも人権侵害事例があることが憂慮されるとし、医師の勤務状況や医療内容、患者の隔離・拘束、金銭管理などについて、抜き打ち調査や職員・患者からの聴取を含めた正確な実態把握を要請した。

台湾訪問の意向

橋下知事

大阪府の橋下徹知事が9日、大阪市内で開かれた府議会日華親善議員連盟の会合で、台湾を訪問する意向を明らかにしたことがわかった。出席者らによると、橋下知事はあいさつで「自治体の長としてではなく、民間の代表として台湾に行きます」と述べたという。府によると、具体的な訪問日程は決まっていない。

橋下知事は就任以来、3回、中国を訪問。会合では「政府の外交方針もあるので、行政の長として行って、ご迷惑をおかけしてはいけない」と語ったという。

石原慎太郎・東京都知事が1999年に初めて台湾を訪れた際、中国は日本政府に抗議している。知事としては、ほかに高橋はるみ・北海道知事や田中康夫・長野県知事（当時）らが観光PRで台湾を訪れている。

USO放送

財政難
また火がついた
―たばこ増税
（東京・和辛子）

絵本「ノンタン」作者

2002年撮影

キヨノサチコさん（本名・清野幸子＝きよの・さちこ＝絵本作家）6月19日、脳しゅようで死去。60歳。告別式は近親者で済ませた。

東京都出身。いたずら好きの白い子猫が主人公の絵本シリーズ「ノンタン」の作者。同シリーズは40冊、2800万部のベストセラーで、テレビアニメにもなった。

中村保男氏（なかむら・やすお＝翻訳家）9日、肺炎で死去。76歳。告別式は14日午前10時30分、さいたま市浦和区仲町1の12の1セレモニー浦和ホール。喪主は妻、周子（かねこ）さん。

著書に「新編英和翻訳表現辞典」など、訳書にチェスタトンのブラウン神父シリーズ、C・ウィルソン「アウトサイダー」、バラード「結晶世界」など。

金石清禅氏（かないし・しょうぜん＝元保守党参院議員）7日、敗血症で死去。70歳。告別式は11日午前11時、東京都練馬区谷原1の3の7東本願寺真宗会館。自宅は豊島区東池袋3の19の10の2706。喪主は妻、教子（のりこ）さん。

1995年の参院比例選で旧新進党から出馬して落選したが、オレンジ共済事件で有罪が確定した友部達夫・元参院議員の失職に伴い、01年6月に繰り上げ当選した。任期満了まで40日間在職して引退した。

Z-KAI
2008年度 志望校合格率 94.2%
正しい学習法が、志望高校へと導くチカラとなる。
これほど高い志望校合格率を挙げられる理由。それは、自立性を高めながら実戦力を鍛えるZ会の学習法にあります。中学生になると、日ごろの予習・復習といった自主的に学ぶ習慣が必要不可欠。一人で取り組む「通信教育」なら、他人に頼らず自分で問題を解決できる自立性を養えます

3億も!
メニーアタリ
マス
3億以外も